

## 大野市行政改革戦略会議（第2回） 会議結果の概要

令和4年10月24日（月）午後6時～8時

結とびあ 2階 201・202号室

出席者 大野市行政改革戦略会議委員 4名（欠席者なし）  
行政経営部長、総務課長、総務課長補佐、総務課員

### 1 座長あいさつ

桑原座長あいさつ後、進行

### 2 議 題

#### （1）副座長の選任について

事務局一任により、近藤敏朗委員を副座長に選任する。

#### （2）大野市行政改革推進プラン2021【別冊】の令和4年度進捗状況について

大野市行政改革推進プラン2021【別冊】の令和4年度進捗状況を報告

※議題（2）についての委員からの意見は別紙のとおり

### 3 その他

特になし

### 4 閉 会

近藤副座長あいさつ

## 別 紙

【委員から出された主な意見は以下のとおりです】

### 議題（２）について

#### ○１－２（目的とターゲットを設定した大野の魅力発信）

- ・県内の目標は設定していないが、大野市の掲載や放送が最近少なく感じる。
- ・大野市の課題（人口減少など）を考え、観光目的でもよいがターゲットや業種を選んでほしい。

#### ○１－３（オープンデータ及び市独自データの公開）

- ・県との共同公開に向け、市独自のデータがホームページにない状況である。鯖江市を参考にしてはどうか。例えば、森林保全や山の管理のデータを作ると林業関係者等や林業参入者へアピールできる材料となる。今後、オープンデータはこれにしたがどうかについて意見を聞けるようにしてほしい。

#### ○２－１（市民が主体の人づくり・地域づくりの促進）

- ・人づくり・地域づくりの促進として検討するのであれば、若者が参画できる要素を入れてほしい。
- ・課題解決に向けた検討会は、中学校再編や地域づくりのため、地区が主体となって研修など一生懸命にしている。（コンサルタントをお願いもしている。）

#### ○２－９（他の自治体との交流、緊急時応援体制の構築）

- ・姉妹都市の古河市へ行くことがあったが、クーポン（割引）がない。県内なら割引クーポンがあるが、大野市でも姉妹都市への旅行などの場合のクーポンなどがあるといいと思う。
- ・団体は利用したことがあるが、補助金には何か制限があるのか。  
⇒個人旅行には助成はしていない。姉妹都市等の団体と交流を図る目的で交流した場合を補助対象としている。

#### ○２－１０（県内広域連携による各種事業の推進）

- ・道の駅荒島の郷の観光案内を見たが、白山を一周している。モンベルも白山を中心としたパンフレットを置き、起点となるものができている。隣接県の交流が今後一層入ってくると、面白いのではと考える。道の駅へ行って感じたのは、宿泊施設（複合施設）がない。宿泊施設があるともっと良くなるのではないか。
- ・和泉地区の道の駅九頭竜がさみしい道の駅になっているように感じるが、化石の発掘ができ、勝山市より大野市のほうが親切に対応してくれたと聞いている。  
⇒大野市の化石発掘は、貴重な化石が出ている。中部縦貫自動車道完成後のことを考え検討し、市内の道の駅は両方とも盛り上げていくようにしていく。

#### ○３－１（各種手続きのオンライン化）

- ・オンライン化を進めるとなっているが、市役所内で進展があるのか。もっと進めるほうがいいのではないか。  
⇒オンライン化していないのは、738件中260件ほどある。その中でも技術的に進められるものは進めている。職員の意識も進まないところもあるが、若い人が使いやすいようなものを進めている。

#### ○３－２（公共料金のキャッシュレス決済拡充）

- ・キャッシュレス化は手広くすると、手数料のことも考えないといけない。キャッシュレス決済

を進めるために、基準となるデータ（数値）に基づき、具体的に進めてほしい。

○3-3（マイナンバーカードの普及促進・利活用）

- ・大野市として、100%になる道筋があるのか。
- ・大学進学時等に住所変更するなど、いろいろとマイナンバーカードを活用する場面が出てくる。高校生向けの周知も検討してはどうか。  
⇒マイナンバーカードはいったい何に利用できるのかということはよく聞かれる。利用拡大に向けた検討をしていく。

○3-4（手続きのワンストップ化などの推進）

- ・ワンストップ化にするのなら、窓口はベテラン職員を配置してほしい。若い職員では対応が足りきたり、市民からの苦情が寄せられることがある。対応の仕方、接客の仕方をしっかりとしてほしい。

○3-6（市民向けICTサポートの強化）

- ・高齢者等には、なかなかワードやエクセルなどの講座は難しい。講座の内容はホームページの見方とか、市役所に提出する申請の方法や、手続きの仕方などを講座内容としたほうがいいのではないか。  
⇒公民館の講座を活用し、電子申請方法を教えている。内容や対象者にもよるが、パソコン教室ではスマートホンのライン教室など、業者からの貸し出し機器をもって講座を開催している。

○4-10（行政事務のペーパーレス化）

- ・保存年限を検討となっているが、具体的な考え方があるのか。4-14のリスク管理の取組みにも通ずるところがある。  
⇒保存年限を今後見直し、適切な量を考えるため検討中としている。
- ・ペーパーレス化として、ソフト面も大事だが、ハード面はどうなのか。  
⇒ペーパーレス化のため、議会はタブレットを使用し、7月議会から試験運用を始め、9月議会には完全に紙ベースは使用していない。また、職員間の会議などはタブレットを使用して行っている。
- ・私たち委員もタブレットを活用し会議ができるようになるといいが。鯖江市からはアドレスをもらっており、会議はタブレットを使用している。参考にするとよい。

○4-14（業務上のリスク管理の強化）

- ・データ管理が必要になると思うが、こういった方針になるかなど、データの基準があるのか。市はリスク管理をどう考えているのか。  
⇒リスクマネジメントとして、データを管理していくうえで、データが勝手に消えることはない。計画的に削減するものの基準を作っていく。永年保存されるものは残っていく。
- ・保存年限の基準について、県など基準に準ずるものがあるかもしれないが、処分ありきの考えをやめて、市独自の保存年限の基準を決めてほしい。